

奄美群島加計呂麻島から得られたユウモドロベラの写真に基づく北限記録

藤田晴大¹・中島田正希²・本村浩之³¹ 〒 890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20 鹿児島大学水産学部² 〒 810-0064 福岡市中央区地行³ 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館

Abstract

A single individual of *Choerodon margaritiferus* (Labridae) collected from Kakeroma-jima island, Amami Islands, Satsunan Islands, Japan, was photographed (specimen not retained) in October 2023. This species has previously been recorded from Japan, Taiwan, Philippines, and Indonesia, and in Japanese waters it is known only from Okinawa-jima island. Thus, the Kakeroma-jima specimen represents the first record of the species from the Satsunan Islands, and also the northernmost record for the species.

はじめに

ユウモドロベラ *Choerodon margaritiferus* Fowler and Bean, 1928 (イラ属 *Choerodon* Bleeker, 1847) は、背鰭が 12 棘 8 軟条、臀鰭が 3 棘 10 軟条であること、雄相は頭と体の背面側が全体に緑がかった灰色で、腹側は白色であること、吻端から前鰓蓋骨縁辺までの眼直下に青色帯があること、胸鰭直上から尾柄まで濃い桃色の帯がつづくこと、背鰭基部の後方から尾鰭基部にかけて、尾柄の背側と尾柄中央から尾鰭基底にかけて青色の帯があること、背鰭第 9-11 棘条直下に青色に縁取られた赤色斑があることなどから同属他種と区別される (Miyamoto et. al., 2015; Gomon, 2017)。本種は西太平洋に分布し、国内では 2015 年に沖縄本島で釣獲された 5 個体に基づき初めて記録 (Miyamoto et. al., 2015) されて以降、報告されていない (本村, 2024)。

2023 年 10 月 29 日に、鹿児島県の奄美群島加計呂麻島沖で本種の雄 1 個体が釣獲され、写真が撮影された。これは本種の鹿児島県初記録かつ北限記録となるので、本種に関する知見の蓄積のためここに報告する。

材料と方法

本報告に用いた、加計呂麻島で釣獲された 1 個体の情報は以下の通り：KAUM-II. 498, 藤田晴大撮影, KAUM-II. 499, 荒武成寿撮影, 体長約 100 mm, 鹿児島県奄美群島加計呂麻島南東部 (28°03'N, 129°19'E), 水深約 50 m, 2023 年 10 月 29 日, 釣り, 町田賀法採集。なお、水深は海釣図 V (株式会社マップル・オン) を用いて推定した。標準体長は体長と略記した。本研究で使用した比較標本は鹿児島大学総合研究博物館 (KAUM) に保管されており、報告した写真資料、および生鮮時写真は全て同館のデータベースに登録されている。

***Choerodon margaritiferus* Fowler and Bean, 1928**
ユウモドロベラ
(Fig. 1)

同定 加計呂麻島から得られた 1 個体 (Fig. 1) は、背鰭が 12 棘 8 軟条であること、臀鰭が 3 棘 10 軟条であること、頭部は鈍く尖り、浅いカーブを描くこと、体はやや細長く、胸鰭基底付近で

Fujita, H., M. Nakashimada and H. Motomura. 2024. Northernmost photographic record of *Choerodon margaritiferus* (Labridae) from Kakeroma-jima island, Amami Islands, Japan. *Nature of Kagoshima* 51: 51-53.

☑ HF: Faculty of Fisheries, Kagoshima University, 4-50-20 Shimoarata, Kagoshima 890-0056, Japan (e-mail: k318119@kadai.jp)

Received: 21 June 2024; published online: 24 June 2024; https://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_051/051-012.pdf

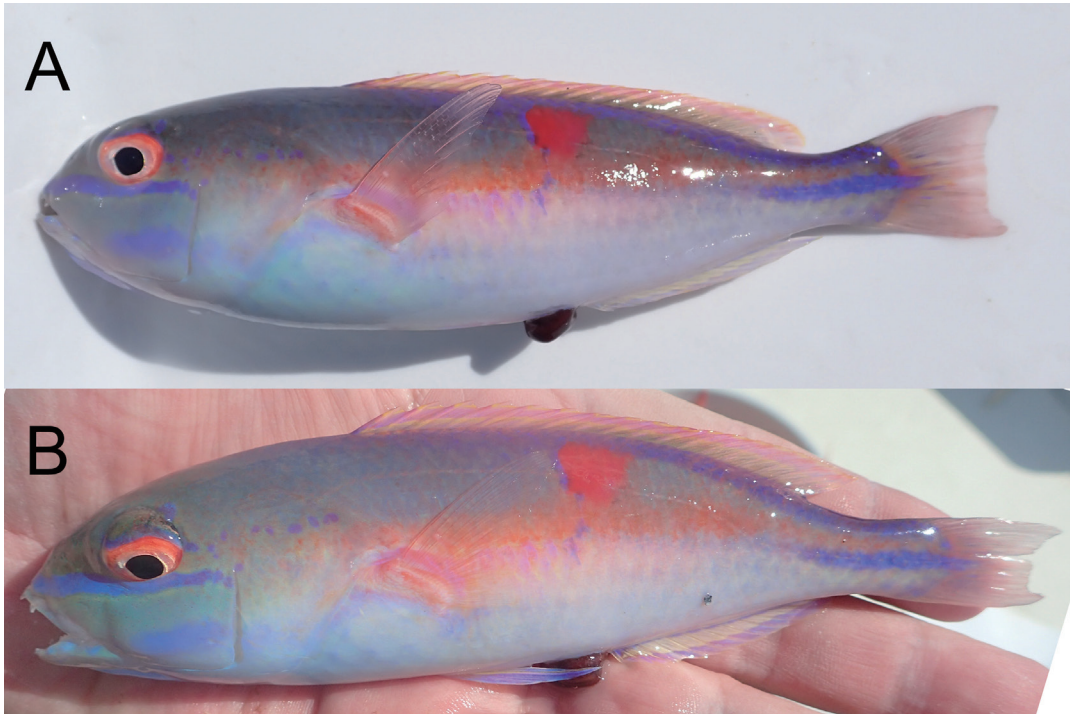


Fig. 1. Photographs of an individual (ca. 100 mm standard length) of *Choerodon margaritiferus*, collected by Gahou Machida, from off Kakeroma-jima island, Amami islands, Satsunan Islands, Japan. Specimen not retained. A: KAUM-II. 498, photographed by N. Aratake; B: photographed by H. Fujita.

最も高いこと、眼は体軸の上部に位置し、大きく丸いこと、側線は中断されず、背鰭第3–7軟条の直下で急激に下降すること、尾鰭は浅く窪むことという形態的特徴が確認された。また、頭と体の背面が全体に緑がかった灰色で、腹側は白色であること、吻端から前鰓蓋骨縁辺までの眼直下に青色帯があること、背鰭基底の後方から尾鰭基底にかけてと、尾柄部中央から尾鰭基底までの側線上に青色帯があること、背鰭第9–11棘条直下に青色に縁取られた赤色斑があり、中心は側線より上方に位置することなどの色彩的特徴が、Miyamoto et. al. (2015) と Gomon (2017) の示したユウモドロベラ *C. margaritiferus* の特徴と一致した。また、上述の形態・色彩的特徴がフィリピン・パナイ島より得られた比較標本 (KAUM-I. 80874, 体長 129.4 mm; Fukui, 2017: p. 182, unnumbered fig.) とおおよそ一致したため、ユウモドロベラの雄相と同定された。

Gomon (2017) は日本、フィリピン、およびインドネシアより得られた本種の体長 82.8–115.0

mm の 10 標本に基づき、彼が示したイラ属の検索表中において本種の眼径を体長の 8.3–8.6%、頭長の 21.6–23.4%、吻長の 71.4–83.1% としている。それに対し、上述の比較標本 (体長 129.4 mm) の眼径はそれぞれ 7.4%, 18.3%, 57.5% であり、Gomon (2017) の示した値よりもはるかに小さかった。これは、比較標本の体長が Gomon (2017) の計測した標本よりも大きいことから、成長に伴う変化であると考えられる。

分布 本種はこれまで、国外においては台湾、フィリピン、およびインドネシアのスラウェシ島東部沖とロンボク島沖からのみ知られており (Fukui, 2017; Gomon, 2017)、国内においては沖縄島南部からのみ知られていた (Miyamoto et. al., 2015)。加計呂麻島産個体の写真は本種の薩南諸島からの初記録であり、分布の北限記録となる。

比較標本 ユウモドロベラ (1 個体) : KAUM-I. 80874, 体長 129.4 mm, 2015 年 11 月 14 日, フィリピン, パナイ島, イロイロ沖 (イロイロ中央市場にて武藤望生, 吉田朋弘, 畑 晴陵購入)。

謝辞

本報告を取りまとめるにあたり、町田賀法氏には当該個体を採集していただき、論文として報告することをご快諾いただいた。荒武成寿氏には写真をご提供いただき、同行者のMari-J氏には採集にご協力いただいた。以上の方々に心から深く感謝申し上げる。比較標本はフィリピン農業省、フィリピン大学ビサヤ校、鹿児島大学総合研究博物館、総合地球環境学研究所、および東海大学の間で締結された共同研究に関する覚書に基づき、フィリピン水産局のS. L. Sanchez氏の指導のもと採集された。フィリピン農業省のP. J. Alcala氏は事前同意証明書を、水産局のI. P. Cabacaba氏とS. M. S. Nolasco氏は魚類標本輸出証明書(No. 2016-39812)を発行してくださった。現地調査にはフィリピン大学ビサヤ校のスタッフにご協力いただいた。

引用文献

- Fukui, Y. 2017. Family Labridae, pp. 181–185. In: Motomura, H., U. B. Alama, N. Muto, R. P. Babaran and S. Ishikawa (eds) Commercial and bycatch market fishes of Panay Island, Republic of Philippines. The Kagoshima University Museum, Kagoshima, University of the Philippines Visayas, Iloilo, and Research Institute for Humanity and Nature, Kyoto.
- Gomon, M. F. 2017. A review of the tuskfishes, genus *Choerodon* (Labridae, Perciformes), with descriptions of three new species. *Memoirs of Museum Victoria*, 76: 1–111.
- Miyamoto, K., A. Nonaka and S. Oka. 2015. Northernmost record of a poorly known tuskfish, *Choerodon margaritifera* (Perciformes: Labridae), from southern Japan, and first description of a female. *Zootaxa*, 4007: 82–90.
- 本村浩之. 2024. 日本産魚類全種目録. これまでに記録された日本産魚類全種の現在の標準和名と学名. Online ver. 25. <https://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/jaf.html>